

横浜市教育委員会
定例会会議録

- 1 日 時 平成24年12月17日（月）午後3時00分
- 2 場 所 教育委員会会議室
- 3 出席委員 今田委員長 中里委員 奥山委員 坂本委員 山田委員
- 4 欠席委員 間野委員
- 5 議事日程 別紙のとおり
- 6 議事次第 別紙のとおり

教 育 委 員 会 定 例 会 議 事 日 程

平成24年12月17日（月）午後3時00分

- 1 会議録の承認
- 2 教育長一般報告・その他報告事項
「横浜型小中一貫教育推進フォーラム」の開催について ほか
- 3 審議案件
教委第48号議案 教職員の人事について
教委第49号議案 教職員の人事について
教委第50号議案 教職員の人事について
- 4 その他

[開会時刻：午後3時00分]

～傍聴人入室～

今田委員長

教育委員会定例会を開会いたします。本日は、間野委員がご欠席との連絡を受けております。初めに会議録の承認を行います。11月26日の会議録の署名者は中里委員と私です。会議録につきましては、既にお手元に送付してございますが、字句の訂正を除き、承認してよろしいでしょうか。

各委員

<了 承>

今田委員長

それでは、承認いたします。なお、字句の訂正がございましたら、後ほど事務局までお伝えください。

次に、議事日程に従い、教育長から一般報告をお願いします。

山田教育長

【教育長一般報告】

1 市会関係

- 11/29 本会議（第1日）議案上程（給与条例関係等）・質疑・付託・議決
- 12/6 本会議（第2日）議案上程・質疑・付託
- 12/17 こども青少年・教育委員会

それでは、一般報告をいたします。市会との関係ですが、11月29日に本会議がございまして、給与条例の関係等の議案上程・質疑・付託・議決がございました。12月6日に、同じく本会議がございまして、これは一般議案その他が上程をされて、質疑・付託がございました。それから本日、12月17日、こども青少年・教育委員会が開かれまして、議案審査等が行われたところでございます。

2 市教委関係

(1) 主な会議等

- 11/30 第12回放射線対策本部会議
- 12/14 第13回放射線対策本部会議
- 12/14 横浜型小中一貫教育推進フォーラム

(2) 報告事項

- 横浜型小中一貫教育推進フォーラム
- はまっ子スポーツウェーブ 第52回横浜市立小学校体育実技発表会の開催について

それから市教委との関係ですけれども、主な会議として、11月30日と12月14日に放射線対策本部会議が開催されております。それから12月14日に、これは後ほど所管課から報告がありますけれども、横浜型の小中一貫教育推進フォーラムが関内ホールで開かれたところです。

報告事項ですが、ただいま申し上げた横浜型小中一貫教育推進フォーラムの開催について、担当課からご説明をさせていただきます。

それから、はまっ子スポーツウェーブ 第52回横浜市立小学校体育実技発表会の開催について、これもあわせて担当課から報告をさせていただきます。

3 その他

その他については特段ございません。以上でございます。

今田委員長

教育長の報告が終了しましたが、ご質問等ございましたら、どうぞ。よろしいですか。

ご質問がなければ、別途所管課から説明とありました、横浜型小中一貫教育推進フォーラムの開催について、説明をお願いいたします。

入内嶋指導部長

それでは、よろしく願いいたします。指導部長、入内嶋でございます。今お話がございましたように、横浜市では、横浜版学習指導要領に基づく横浜型小中一貫教育を推進しているところでございますが、そのフォーラムを開催いたしました。日時は先週の金曜日、14日の午後でございます。会場は関内ホールで行いました。650名の方々にお集まりいただいたところでございますけれども、詳しいところを担当の指導主事室長よりご説明申し上げます。

吉原指導主事室長

指導主事室長の吉原でございます。よろしく願いいたします。関内ホール大ホールにおきまして行いました横浜型小中一貫教育推進フォーラムでございます。内容といたしましては、3にありますように、1部から4部までの構成で行いました。1部の横浜型小中一貫教育の経緯、取組につきましては、一緒につけております資料、こちらに示した内容を教育委員会として説明をいたしました。

2部では、市内の小中一貫教育推進ブロックの取組を、都田中学校ブロック、根岸中学校ブロック、それぞれからご提案いただきました。都田中学校ブロックにつきましては、子どもたちへ共通理解を図るという意味でのスタンダードのことについて、都田小学校の校長先生にお話をいただきました。子どもたちが落ちついて生活をしていくための約束事として、小学校・中学校が共通理解をして進めていくという内容でございました。

根岸中学校につきましては、これまで長く進めてまいりました学力向上の視点で、小学校・中学校の先生方が合同で研修を行っております根岸塾のこと、また地域の特性を生かした地域との連携を図った活動等についてご提案をいただきました。

市外の小中一貫教育の取組につきましては、三鷹市の教育委員会、また新潟の三条市教育委員会からご提案をいただきました。三鷹市につきましては、コミュニティスクールを核とした小中一貫教育の推進ということで、中学校区が小学校区と重なり合っていることで円滑に進めている様子を伺わせていただきました。また、三条市につきましては、学力向上に向けて取り組んでいる内容を具体的にご説明いただいた次第でございます。

第3部では、シンポジウムを行いました。「小中一貫教育の現状と今後の展望～小中一貫 次の一歩～」ということで、コーディネーターに京都市教育委員会指導課参与の村上先生、そしてシンポジストとして、三鷹市教育委員会の松永課長、新潟県三条市の前澤主幹、そして横浜市を代表しまして横浜市立霧が丘小中学校准校長の副島先生、そして教育委員会を代表しまして西部学校教育事務所長の北村所長にシンポジストとなつていただきまして、小中一貫の今後ということに視点を当ててお話し合いをいただいた次第でございます。

第4部では、コーディネーターを務めていただきました村上先生に「小中一貫教育の推進と今後の展望」という題名でご講演をいただきました。国の動向を初めとして、実際に京都市で行われている小中一貫教育の実践の状況、特に中学校

の授業改善に視点を当てた取組について成果を上げている状況を具体にお話ししていただき、大変参考になる内容だったと認識をしております。

この4部構成で行わせていただき、参加者からアンケートをいただきましたが、大変参考になったという意見が多く見られました。学校関係者、市立の学校関係者からですと、「規模の大きい横浜のデメリットを、多様さで、良さにしてしまおうというような意識を皆で持てるといい」、また、小中9年間で4・3・2のブロックに分けて考えていくというご提案がありましたが、それについても、なるほどというふうに感じたというのがあります。「小中一貫はこれまでやってきたことを進めるのではなく、新しい文化の創造である」、「教員の強い思いが原動力となる」、そして「小中一貫は目的ではなく手段であるという意識をしっかり持ちたい」というような話がありました。

また、他都市から47名の参加をいただいておりますが、仙台市からは、「次年度小・中連携モデル事業発表会を実施予定なので、本日のフォーラムの運営内容を参考にさせていただきたい」というようなご意見、他に、「市として見通しを持つことができました」というようなことや、「小中一貫の取組について目的がはっきりしていて、取組の方向性がよくわかった」というお話や、「小中一貫教育の取組について考えを整理するよい機会となるとともに、やる気の出る、活力の出るフォーラムであり、参加してよかったです」というようなご意見をいただきました。

開催の様子につきましては、資料の裏面に、少し見づらいのですが写真を載せさせていただきました。非常に熱気のあるフォーラムを開催することができたと思っております。中里先生にもご来場いただき、最後までご参加いただきまして本当にありがとうございました。

以上でございます。

今田委員長

所管課から説明が終わりました。ご質問等ございましたら、どうぞ。

中里委員

長時間のフォーラム、ご苦労さまでした。時間枠は長かったのですが、時間は短く感じるほどでした。非常に印象に残った言葉、先ほどの話の中でありましたけれども、三鷹市も三条市も同じく、小中一貫教育は目的ではなく手段であるということを主張されておりました。

それから、京都の御所南小学校で12年間、校長を務められた村上先生のお話の中で、いくつか印象に残るお話もありました。まず一つは、なぜ小中一貫教育なのか、なぜ授業改善が必要なのかを考える必要がある。他の取組のよいところを学び、よりよく改善し創造する。ミクロの目・マクロの目で見ることが大切だ。なるほどなと思いました。村上先生がおっしゃった中で、一小一中の関係ばかりではない。要するに二小一中とか、いくつかの小学校が重なって中学校になる。そのときの小・小の小学校の連携があって、初めて9年間の教育が生かされるということで、このことは都田小の校長さんも以前から言われていました。そして3つ目として思ったのが、指導方法の一貫が必要なのだとすることを村上先生はおっしゃっておりました。

都田小の発表、それから根岸中の発表もありましたが、都田小と都田中については、私は数回、学校を訪問しました。1年ごとにどんどんよくなっている学校で、小中一貫教育が生きて働いている学校だなとつくづく思いました。ぜひ、こういう全部の小中一貫教育推進ブロックの冊子ができておりますので、自慢できるところは自慢し、真似できるところは、どんどん取り入れて、共により良くなってほしいなど、改めて思いました。ご苦労さまでした。ありがとうございました。

いました。

今田委員長

はい。ほかに何かありますか。よろしいですか。

それでは、貴重な報告ご苦労さまでした。またぜひ、大いにその良さを広めていっていただければと思います。ご苦労さまでした。ありがとうございました。

それでは次に、はまっ子スポーツウェブ、第52回横浜市立小学校体育実技発表会の開催について、説明をお願いします。

入内嶋指導部長

指導部長、入内嶋でございます。引き続きよろしくお願いたします。お手元に資料、裏表のプリントがあらうかと思ひます。はまっ子スポーツウェブということで、第52回横浜市立小学校体育実技発表会の開催がございましたので、ご説明申し上げます。

12月1日土曜日に、横浜文化体育館で行いました。当日は、開会式が11時45分に始まり、55分から演技を前半・後半ということで行いまして、閉会式が3時20分ということでございます。

3番にございます参加者数でございますけれども、横浜市立小学校、各区の代表18校、約1000人、それから観覧保護者等、約1000人、また、関係の先生方ということで、およそ2500人程度参加していただいているところでございます。これは昭和35年から始まっているものでございまして、マットや跳び箱とか、そういう器械運動とか、それから縄跳びとか、表現とか、そういうものをクラス・学年が中心となって半年または場合によっては1年近く鍛錬を積んできたものを発表するという場になっております。

ねらいといたしましては、そこに3点ございますように、実技発表会に参加して、自らを高め、運動に親しむ資質や能力、主体的に生きる豊かな心を育成するとか。お互いの演技のよさを見て認め合うことを通して、さまざまな運動についての知見や視野を広げて生活に生かすとか。それから、一人一人が目当てを持って練習に参加し、友達と協力して演技をつくったりすることを通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするというところでございます。

裏をご覧ください。5番の内容ですが、先ほどご紹介いたしましたように、器械運動・表現運動などの演技を行うということでございまして、各区の代表がそこに、プログラムにございますように行いました。また、今年度は、市内で練習を行っている中学生・高校生による床運動の特別演技を行いました。高校生2名・中学生1名で3名で、次期リオデジャネイロのオリンピックを目指している体操の選手でございまして、そのうちの2人は本市の中学校の卒業生ということですね。先輩の、もう本当に私も見てすごいなと、もう感動、感動の姿をちょうど前半と後半の間で見せていただいたんですが、もう子どもたちも一つ一つの演技に「おー」「おー」という感じで、憧れの先輩の姿、また努力する姿を見て、また一つ刺激になったかなと思っております。

プログラムの前半はマーチングバンドの演奏ということで、そこにございます小机小学校が頑張ってくれまして、あと9校・9校がそこに1年生から6年生まで各学校で選ばれた、各区で選ばれた代表が演技をした次第でございます。なお、表現運動、1番、それから4番の表現リズム遊び等々、6校ございますが、本年度は「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2012」という本市の事業もございまして、その事業の一環として講師を派遣していただいて、練習に励むことができたということ聞いております。

ご報告は以上でございます。よろしくお願いたします。

今田委員長	<p>所管課から説明がございました。何かご質問ございましたら、どうぞ。よろしいですか。</p> <p>私のほうから一つだけ。これは港北区の太尾小学校はマーチングバンドが随分上手になって、学校の授業力も随分上がってきたということで、評判が高いのですが、北村先生、本人に言いにくいかもしれませんが、何かそのように聞いていますよ。</p>
北村西部事務 所長	<p>ありがとうございます。マーチングバンドや陸上クラブの朝練習など体力づくりも含めて一つのことに子どもたちが取り組むということは、子どもの良さがいろいろな場で発揮されます。そういう意味では音楽にかかわる男の子たちもいますし、その子たちが活躍する場を用意、提供してあげれば活躍できる子どもがいます。そこには教師の指導力、地域の協力も必要だと思っています。教師だけの力でも、子どもだけの力でも、地域だけの力でもないということでございます。今回の実技発表も、先生自身の力と生徒の力、学校の力で頑張っているということで、ご報告しております。</p>
今田委員長	<p>ありがとうございました。そういうことを聞いています。ほかにございますか。よろしいですか。</p>
中里委員	<p>今、マーチングバンドの話が出ましたけれども、小中一貫で考えたときに、その中学校の部活とのつながりが、例えば太尾小学校と大綱中学校ではあるわけですね。大綱中学校にはブラスバンド部があるので。ただ、一生懸命やっているマーチングバンドの小学校のお子さんが行く中学校へつながっていないケースがありますね。せっかくあそこまで上達したのに残念に思うのです。指導者がいないという問題があつて途切れていってしまう問題も、少し胸の痛い話も耳にしておりますので、何かうまく小中一貫とタイアップしていくといいですね。</p>
今田委員長	<p>何かありますか。それに対してコメントは、よろしいですか。</p>
入内嶋指導部 長	<p>中学校の場合、ブラスバンド、吹奏学部がほとんどあろうかと思いますが、中里委員がおっしゃるように、これに限らず小中での、まだまだ違いがあると思います。今後、小中一貫ブロックの中で、そういうことも含めて小中一貫教育というのはどう捉えていくかというのは、一つの課題になるかと思っておりますので、一つ頭に置いて、今後も、考えさせていただきたいと思っております。</p>
今田委員長	<p>はい、わかりました。それでは、ありがとうございました。</p> <p>特にご質問がなければ、議事日程に従い、審議案件に移ります。まず、会議の非公開についてお諮りします。教委第48号議案、教委第49号議案、教委第50号議案、教職員の人事については、人事案件のため非公開としてよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p><了 承></p>
今田委員長	<p>それでは、教委第48号議案から教委第50号議案までは非公開といたします。審議に入る前に事務局に確認ですが、報告事項はありますか。</p>
重内総務課長	<p>はい。12月7日、横浜の教育を考える会から副読本に関する陳情書が、12月10</p>

日、個人1名から給食当番の白衣に関する請願が提出されました。これらの請願等につきましては、教育長に委任する事務等に関する規則第2条の規定に基づき、事務局で調整し、回答させていただきます。

また、12月10日、横浜の教育を考える会から専門部署の設置に関する陳情書が提出されました。この陳情等につきましては、事務局で調整の上、次回以降にお諮りしたいと思います。

また、受理番号14の要望書につきましては、教育長専決にて12月10日に回答いたしましたことをご報告いたします。

次回の教育委員会定例会は、1月8日火曜日の午前10時から開催予定でございます。よろしくお願いいたします。

以上でございます。

今田委員長

皆さん、よろしいでしょうか。それでは、次回の教育委員会定例会は1月8日火曜日の午前10時から開催予定です。別途通知しますので、ご確認ください。

そのほか、委員の皆さんから何かございますか。特にご発言等がなければ、非公開案件の審議に移ります。傍聴の方はご退席願います。また、関係部長以外の方もご退席ください。

<傍聴人及び関係者以外退出>

<削 除>

今田委員長

本日の審議案件は以上です。

これで、本日の教育委員会定例会を閉会といたします。

[閉会時刻：午後3時45分]